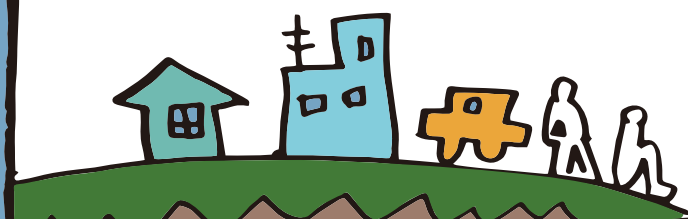


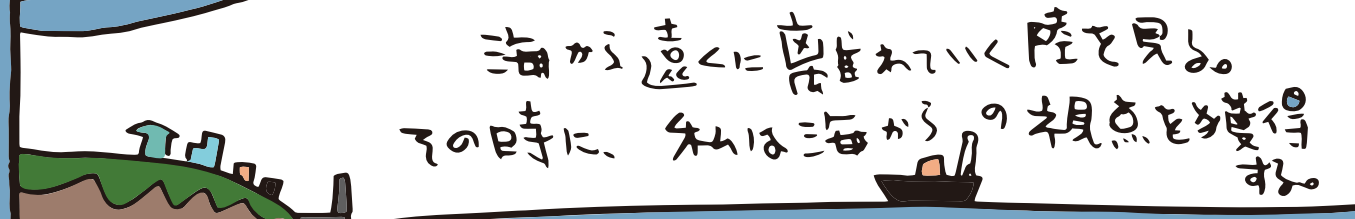
うみがらの視点



私たちは陸上で生活をしている。
歩いたり、自動車にのったり電車に
のったりして移動する。



でも、海の中の浮かぶ島に向かう時
は、船をつかう。海から
船にのる。



海から遠くに離れていく陸を見る。
その時に、私は海からの視点を獲得
する。



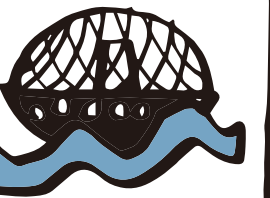
それは 陸上にいた時には見えなかったものが
見える視点だ。その視点が、物語を
考へてみる。

島に向かう時には誰もが「海からの視点」
にシフト+エッジする。そして上陸する。



「海からの視点」へのプロセスが「島人の思考の素
島の哲学の基となる」。

AWASHIMA on LINE TOUR



うみがらの

視

点

ナビゲーター
日比野亨彦

2021.3.21



主催
三豊市
Tara Ocean財団日本事務局
(一社)TARA JAPAN

1 海の上のTANEFUNEから 始まり、はじまり!



いざ!瀬戸内海に浮かぶ粟島へ!香川県三豊市の須田港から船に乗ってレッツゴー!
オンラインでつながるといきなり海の上からスタート!
皆さんが乗船するのはTANE FUNEというHIBINOデザインの船です。
日比野船長がみなさんをご案内!360度カメラで撮影する映像はVRゴーグル
で海の上の臨場感を満喫!

2 粟島に上陸

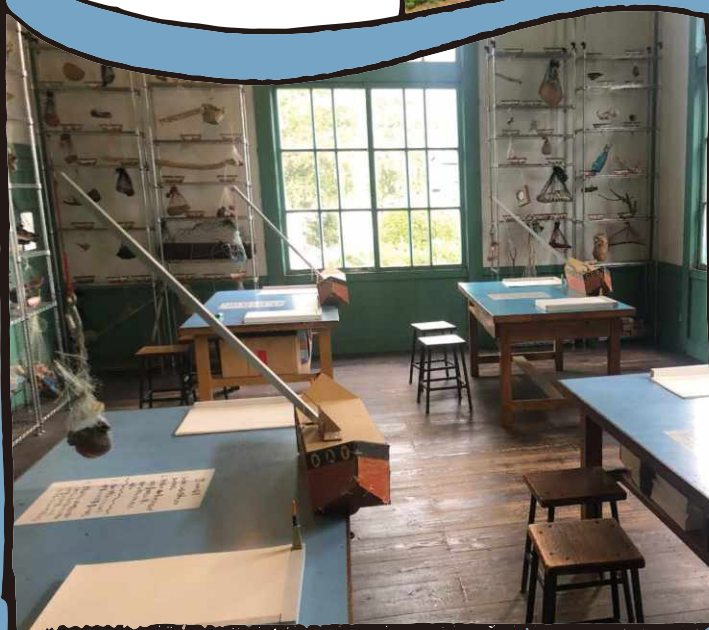


島が段々と迫ってきました。
海からの視点をしばし体験したら、
いよいよ上陸です。
いったいどんな島なのでしょう?
どんな歴史があるのでしょうか?
どのような人たちが住んでいるの
でしょうか?
ワクワクドキドキ!

3 粟島海洋記念館



粟島のランドマーク!
日本で最初の国立海員養成学校の旧
校舎を利用した記念館です。
この建物はなんと築100年。
ここから多くの外洋船員が育成されま
した。島の年配者も世界の海を駆け
巡った人がたくさんいます。世界の国々
と粟島は海で繋がっていたのです。さあ
島の歴史への入り口はこちらです!



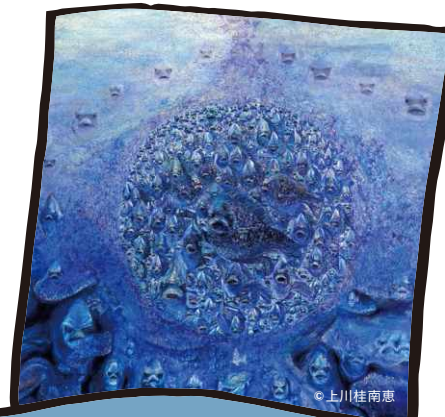
4 ソコソコ想像所

海洋記念館の一室にあります。瀬戸内国際芸術祭の日
比野さんの作品です。瀬戸内の海底にはナウマンゾウの
骨とか、沈没船の積荷とか、漁具、戦時中の武器の破片
などが眠っています。それを集めて展示してあります。
その品々を観察しながら、色々なことを想像して、地球
の過去に未来に思いを巡らす空間です。
実際になにがあるのか近くで見てください。

5 TARA



Tara Océan(タラ オセアン)財団は海洋環境を調査し、海の
大切さを発信している団体です。多くのアーティストが科学者と
共に、タラ号で海に出て、そのメッセージを作品にしています。
フランス人作家のニコラ・フロックさんの作品があります。そ
して本日初披露の作品がこちらです!これは昨年に日本国内
で行った海洋調査Tara JAMBIOマイクロプラスチック共同
調査に同行した作家たちの作品です。
そして、タラ号は現在南米あたりを航海中です。タイミングが
合えばオンラインで繋いでみましょう!



6 アワロハ

お腹が空いてきました。どこかいいお店はないかな?
あります!島のおいしいものここにあります!
島で漁師をしている朝倉さんのお店です。
料理するのは奥様のタケさんです。
今日は特別に開けてもらいました。目の前は海の素
敵な建物は、ほぼDIY!島の人の憩いの場所です。
今日はどんな料理がでてくるのかな?



7 粟島芸術家村 (旧の中学校)

旧粟島中学校が今は粟島芸術家村として、レジデンスアーティストた
ちのアトリエと展示室になっています。一昨年の瀬戸内芸術祭で滞
在した大小島真木さんの素敵な鯨の作品を見ることが出来ます。
そしてアーティストを支えるのが粟島ぼ〜い&が〜るです。今日は誰
がいるのかな?賑やかな声が聞こえてきました...



8 海へ... TANE FUNEに戻りましょう。

今回の島巡りは以上です。
では港に
停泊
している